

Take Free

2022.Nov

# ウマフリ岩手

with 馬と歴史と未来の会

vol.1

JBC号

## インタビュー

### 角居勝彦元調教師

ダートの名牝サンビスタを語る。

### サルサディオーネ生産 荒谷牧場

青森の牧場が送り出した全国区の名牝。

## 特集

・ふじポンの語る岩手競馬の魅力

一般社団法人『馬と歴史と未来の会』

来る。JBC盛岡が



# JBCレース情報

JBC Race Information 2022

2022年11月3日（木・祝）  
ダートの祭典がくる。

JBC レディースクラシック (JpnI) 

盛岡競馬場 第10競走 ...16時40分

JBC スプリント (JpnI) 

盛岡競馬場 第11競走 ...17時20分

JBC2 歳優駿 (JpnIII) 

門別競馬場 第9競走 ...18時00分

JBC クラシック (JpnI) 

盛岡競馬場 第12競走 ...18時40分

## そもそも、JBC とは？

2001年に創設されたダートの祭典、JBC。1日に複数のJpnI競走が開催される地方の一大イベントとして愛されてきた。開催される競馬場は持ち回り性で、今年は2014年以来となる盛岡競馬場での開催となる。創設当初は中央馬の勝利が続いていたが、近年は地方馬の逆襲も見られる。

JBC クラシックは昨年のJBC 金沢で悲願の地方馬による勝利。ミューチャリーの鞍上は、金沢の名手・吉原寛人騎手だった。JBC スプリントは2007年フジノウェーブが地方馬として初勝利をあげ、ここ3年でも地方馬が2勝と好成績をあげている。

一方で2011年に創設されたJBC レディースクラシックは2017年ララベルの勝利が唯一の地方馬による白星で、久々の地方馬による勝利も期待されている。2020年に新設されたJBC2 歳優駿は初年度から地方馬が勝利。現在JRA勢との戦績は五分と五分で、今年勝利をあげて主導権を握るのは、地元・北海道勢か、JRA勢に注目が集まる。

地方馬のレベルアップが著しい昨今、これまで以上の盛り上がりを見せるJBC。今年のJBC 盛岡からも、目が離せない。



### JBC クラシック近3年 戦績

- 2019年（浦和 2000m） チュウウウィザード（JRA）
- 2020年（大井 2000m） クリソベリル（JRA）
- 2021年（金沢 2100m） ミューチャリー（船橋）



### JBC レディースクラシック近3年 戦績

- 2019年（浦和 1400m） ヤマニンアンブリメ（JRA）
- 2020年（大井 1800m） ファッションスタ（JRA）
- 2021年（金沢 1500m） テオレーマ（JRA）



### JBC スプリント近3年 戦績

- 2019年（浦和 1400m） ブルドッグボス（浦和）
- 2020年（大井 1200m） サブジュニア（大井）
- 2021年（金沢 1400m） レッドルゼル（JRA）



### JBC2 歳優駿近2年 戦績

- 2020年（門別 1800m） ラッキードリーム（北海道）
- 2021年（門別 1800m） アイスジャイアント（JRA）





# ふじポンさん

岩手競馬愛を語らせるならこの人！

みんなの人気者ふじポンさんに、岩手競馬の魅力を聞いてきました！

# Q&A

## Q1. 岩手競馬の魅力とは？

A!

岩手競馬という一つの括りの中で、色々な競馬を楽しめるというところ！

1月上旬まで競馬を開催する岩手競馬。雪もかなり降るし、日本で一番過酷な競馬場かも!? 関係者の皆さんが一生懸命馬場整備をして、ジョッキーの皆さんも馬たちも少し怖い中で頑張ってくれて、皆さんの努力の上でレースが行われているんですよ！

## Q2. 盛岡競馬場の特徴は？

A!

パドックから馬場に出る時もすごい近くで見られること！

馬をびっくりさせるといけないから大きな声を出したりオーバーアクションはできないけど、子どもたちがそこに立って『がんばれ〜!』って声援を送っていることも。応援しやすい競馬場だと思ってます！

## Q3. 岩手に初めてくる競馬ファンに一言！

A!

馬産地でもある岩手。馬文化もたくさんあるから、楽しんでほしい！

もしかしたらみなさんが応援してる馬たちの中にも、血統を辿ってみたら岩手に深い関係がある馬がいるかもしれません。旧盛岡競馬場が公園になっていたり、馬っこパーク・いわてのような場所もあって、馬文化に触れられるような場所って盛岡近辺に結構あるんです。私も以前、お友達を馬巡りツアーに連れて行ったことがあります！



その後ろ姿は、まさに岩手競馬の応援団長！



馬の近さが魅力の盛岡競馬場

前回の JBC 盛岡は応援団長として、PR のために全国を回らせていただきました。どこの競馬場に行っても皆さんが温かい言葉をかけてもらえて、感動の嵐でした！今年の JBC 盛岡も全力で楽しみましょう！

### Profile:

岩手県盛岡市出身で、地元を中心に様々な活動を展開する人気タレント。2009年には南部杯を盛り上げるため、1日のブログ更新回数271回というタレントブログの記録（当時）を更新した。



角居勝彦元調教師..

元 JRA 調教師。ウオッカやシーザリオ、エプファネア  
やカネヒキリといった歴史的な名馬を多数送り出した。早期  
引退後、地元で家業とともに引退馬支援に取り組んでいる。

## インタビュー

# 角居勝彦元調教師

2014年に岩手で開催された JBC。

そこで JBC レディスクラシックを制し、翌年にはチャン  
ピオンズ C を制した名牝サンビスタは、今でもダートファ  
ンの記憶に刻まれている 1 頭だ。サンビスタの管理をして  
いた角居元調教師に、彼女との思い出を伺う。

## ダート牝馬路線が 充実していった 10 年代。 懸命に駆け抜けた ダートの名牝サンビスタ。

「馬格もあり動きも良いので、2 歳の頃から期待していま  
した。調教では素直ですし、体質も強かったので、手  
のかからないタイプでしたね」

サンビスタは 3 歳 3 月にデビューすると、3 戦目で勝  
ち上がり。5 戦目、6 戦目では連勝するなど、ダート中  
距離路線で頭角を現す。5 歳 2 月に準オープンを制す  
るまで一貫してダート 1700m ～ 1900m を使われ、13  
戦 5 勝（3 着 4 回）という安定した戦績を残した。そ  
んな彼女が初めて交流重賞に挑戦したのが、14 年の  
川崎・エンプレス杯だった。

「交流重賞でどんな走りを見せるは、今後 G1 を勝てる  
かの物差しになります。結果は 2 番人気 3 着と敗れは  
しましたが、同時に "大きいところを狙える馬だな" とい  
う手応えがありました」

エンプレス杯の後は休養を挟み、次走に選んだのは  
4 ヶ月後の函館・マリーン S。そこで 2 着に入ると、続  
いて同じく北海道の門別で開催されたブリーダーズゴー  
ルド C に出走し、交流重賞での初勝利をあげた。ブリー  
ダーズゴールド C はこの年から牝馬限定の重賞に条件  
変更されていて、サンビスタはその初代女王に輝いたこ  
とになる。



盛岡で開催された  
第 4 回 JBC レディスクラシックを  
制覇したサンビスタ。  
当時のダート界を牽引する  
牝馬の眼差しは力強い。



「サンビスタが出てきた頃からちょうど、牝馬ダート路線が増えてきたのは追い風でした。良い馬が積極的に地方遠征するようになり、盛り上がっていった時期だと思います」

当時といえば、ダート牝馬路線が拡充されていった過渡期だった。

2010年には牝馬限定の世代別ポイント制シリーズであるグランダム・ジャパンが創設され、翌年にはJBCレディスクラシックが創設。ダートに適性のある牝馬は地方で、という流れが確立されていった。

「サンビスタにとって、岩手で開催されるJBCレディスクラシックは大きなチャンスでした。調教から動く馬ですからオーバーワークには気をつけましたが、作戦は鞍上（岩田騎手）にお任せしました。輸送も慣れてきた時期でし、当日は落ち着いて出走を迎えられました」

単勝オッズでは、14年に交流重賞で3勝をあげていたワイルドフラッパーが1.4倍の1番人気。サンビスタは4.9倍の2番人気、さらに交流重賞は初挑戦となるトロワボヌールが6.0倍の3番人気で続いた。4番人気は10.8倍と二桁オッズ、さらに6番人気となると64.6倍とかなり離れた人気となり、ファンの間では三強対決という評価に収まっていた。

レースが始まると、のちのJBCスプリント覇者コーリンベリーがレースを引っ張る展開に。サンビスタと岩田騎手は4番手付近で機を伺った。そして直線で早めにワイルドフラッパーを追い抜くと、トロワボヌールの追撃も凌いで1と1/4馬身差をつけて快勝。三強決着となった一戦を見事に先頭で駆け抜けた。

## ダートの牡馬たちを相手に大金星。 「今後もしばらく 出てこないタイプの馬だなあ」。

「元々、G1級を勝てる馬だと信じてきた馬。欲しかったタイトルが獲得できて嬉しかったです。同時に、若い頃にお世話になった（生産牧場の）グランド牧場に、恩返しができたな、と…」

サンビスタを生産したのは、新ひだか町のグランド牧場。グランド牧場といえば、90年代にはプリエミネンスやスマートボーイといったダートの名馬を多数輩出し、00年代にはサンビスタの父でもある天皇賞春の勝ち馬スズカマンボを生産。現役でもダートのテイムサウス



ダン、障害のメイショウダッサイ、芝のカデナと様々な活躍馬を送り出している名門だ。グランド牧場と角居さんの間には、深い縁がある。

「競馬の道を志しつつ、全くの素人だった私が、初めて馬に触ったのがグランド牧場。馬との関わり方を教えていただきました。当時は無我夢中でやっていましたね。技術が無いので、なにが良いのか悪いのかもわからずにいましたが、とにかく情熱をもって頑張っていました。そんな恩のあるグランド牧場が、こうしてトップホースを預けてくれたということが有り難かったですし、結果が出せて本当に良かったです」

G1級競走を制し、盛岡の地でダート女王の座へと上り詰めたサンビスタ。しかし彼女の栄光の道のりはそこでは終わらなかった。続くチャンピオンズCでは牡馬を相手に4着と好走し、ファンを驚かせた。

「勝ちに等しい競馬をしていたと思います。ダートの一線級は牡馬の層が厚く、牝馬ではなかなか太刀打ちできません。本当は繁殖にあがる前の最後のレースだと思って挑んでいたのですが、レースを見たグランド牧場の方々が『牧場に返すのはもう一年待てるよ』と言ってくださったんです。それで、翌年のチャンピオンズCに再挑戦できることになりました」

サンビスタはそこから翌年のチャンピオンズCまでに、交流重賞で2勝をあげる。かしわ記念では牡馬を相手に5着と再び好走し、舞台を大井に移したJBCレディスクラシックでも2着と好走。好調をキープし、チャンピオンズC再戦の日を迎えた。

コパノリッキーとホッコータルマエというダートの二大巨頭に、3歳の新鋭ノンコノユメが挑む構図となった15年チャンピオンズC。サウンドトゥルーやローマンレジェンド、ワンダーアキュートといった実力派が脇を固め、牝馬のサンビスタは12番人気だった。しかしレースが始まると、サンビスタは中団から好位のロスのないポジション



でレースを展開。厳しいペースとなり先頭集団が崩れ始めたタイミングで外に持ち出されると、強豪牡馬らを差し切って先頭でゴールを果たした。

「いやあ、驚きましたよ。前年でも十分過ぎるほど驚いていたのに、まさか勝利してくれるとは…。見ていて『こんな馬もいるんだ。今後もしばらく出てこないタイプの馬だなあ』と思いました。実際、チャンピオンズCを勝てる牝馬はまだ出てきていませんし、その時の気持ちは正解だったのかなと思っています」

引退レースを華々しく飾ったサンビスタは、繁殖牝馬として生まれ故郷のグランド牧場に凱旋。初年度には、

角居さんが管理していたルーラーシップが配合相手に選ばれた。さらに現3歳馬のジレートルは、8戦3勝2着3回(22年9月現在)という安定した走りを見せ、ダート界の新鋭として注目を集めている。ダートの名牝サンビスタは、今後も繁殖牝馬として、グランド牧場の繁栄を支える1頭となるだろう。

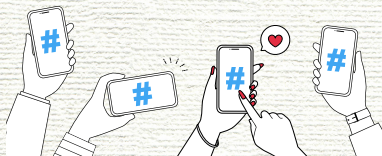
盛岡競馬場は、芝もあって綺麗な競馬場。過去にはカネヒキリでダービーグランプリやマーキュリーCを勝たせてもらっていますし、良いイメージを持っている競馬場です！



## プレゼント企画

### 『ウマフリ岩手』読者の皆様に、 豪華プレゼントのチャンス！

#### #ウマフリ岩手プレゼント企画



応募は簡単、Twitterで『#ウマフリ岩手プレゼント企画』のハッシュタグをつけてJBC盛岡の感想をTweetするだけ！  
どしどしご応募ください♪ プレゼントは下記の3点になります。



星海社新書『ティエムオペラオー伝説  
世紀末覇王とライバルたち』

🎁 3冊



りんごジュース

🎁 3本



パウチのゼリー飲料 & ジュース

🎁 5セット





岩手競馬を盛り上げた名馬、コミュニティ。穏やかな日々を過ごしています。

盛岡競馬場から車で40分弱のところにある、滝沢市「馬っこパーク・いわて」。かつて岩手競馬の不朽の名馬トウケイニセイがいた地でもあり同時に、現在でも多くの馬たちが余生を過ごす場所として、多くの方々に愛されています。岩手競馬所属の馬たちの休養の地としても使われていて、馬房には現役馬から功労馬をはじめ、乗馬レッスンで多くの生徒に乗馬を教える馬たち、そして岩手県伝統のチャグチャグ馬コに参加する重種など、数々の馬たちがそれぞれの日々を過ごしています。その1頭であるコミュニティ号もまた、多くの来訪者に愛される馬です。岩手競馬ファンであれば、一時代を築いた馬として記憶している方も多いのではないのでしょうか？

## Umafree Iwate News 1

### 滝沢市 「馬っこパーク・いわて」が考える、 様々な形の引退馬支援。

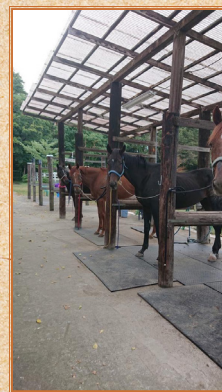
2014年の盛岡開催のJBCにも参戦(8着)したコミュニティは、引退後に馬っこパークへ。その当時は脚元に故障を発生したばかりのボロボロの状態だったそうですが、今となつては日常生活で支障をきたさないレベルまで回復しているそうです。コミュニティの場合、怪我の関係もあって乗馬やセラピーホースとして活動しているわけではありませんが、そんな彼について馬っこパーク場長の加藤亮哉先生は「例えば餌を食べて放牧して、厩舎で人が来たら顔を出して…そんな何気ない仕事でも見る人によっては『癒されるなあ』と思っていただけたらと思うんですよ。乗馬がすべてのセラピーではないし、引退馬支援の形ではないと思っています」と話してくれました。

馬っこパーク・いわてと  
コミュニティ号の  
近況インタビューはこちら↓



## Umafree Iwate News 2

### 自らの手で競走馬を乗馬に。 水戸乗馬クラブの考える 引退馬の送り出し方。



引退した競走馬たちに新たな活躍の舞台を。穏やかで優しい空気の流れる水戸乗馬クラブ。

家族が馬主だったという谷正之さん。子供の頃は引退馬がどこへ行くか深く考えたことがなかったと言いますが、30代半ばで乗馬をしている人と知り合ってからシビアな現実を目の当たりにします。「せめて自分が関わった馬は乗馬として余生を過ごせるようにサポートしたい」と考えた谷さんは、乗馬クラブを譲り受けて自ら競走馬のリトレーニングを開始したそうです。

「乗馬クラブという名前はついていますが、あくまで自分や家族の馬を乗馬に転用するためのトレーニング施設だと考えていました。乗馬としてのスキルを身

につければ、貰い手は見つかりますからね」と話す谷さん。今では現役馬も預かることがあるという水戸乗馬クラブ。なんと、岩手で活躍する若手の鈴木祐騎手が馬の乗り方を覚えた場所でもあります。常磐自動車道・水戸ICより5分という好立地で、乗馬体験などでもできる楽しい施設です。「抹消したから譲るよ!」ではなく、「抹消後、ここまで出来るようにトレーニングしたから可愛がってあげてよ!」という考えのもとリトレーニングに取り組む谷さん。その考えに共感した方は是非、一度足を運んでみてください!

「水戸馬主クラブ」の詳細は  
活動インタビューはこちら↓





## おいしく支援!? ジオファーム八幡平の送る、マッシュルーム栽培による引退馬支援。



自然に囲まれた牧場。馬ふん堆肥で育てられたマッシュルームは絶品。

引退馬が生活する中で発生する馬ふん堆肥を使用して、マッシュルーム栽培をしているジオファーム八幡平。「何故、わざわざ馬ふん堆肥でマッシュルームを?」と思う方もいるかもしれないが、実はこれは17世紀のフランスから続く伝統的な栽培方法に近い栽培方法なのだとか。

元々フランスでは馬房の敷き藁を使って栽培されていたというマッシュルーム。ジオファーム八幡平では敷き藁をベースとした伝統的な栽培方法にこだわっているようで、敷き藁集めに苦心しながらも安定確保に努めています。引退馬支援との親和性の高さも頷けます。

実は、馬ふん堆肥は非常に清潔。

現代社会の在り方に適合した栽培方法として、競馬界だけでなく農業分野の方面からも注目を集めています。「岩手には、馬に対する理解のある人が多い印象があります!」と語る、ジオファーム八幡平の代表・船橋慶延さん。2020年には「八幡平マッシュルーム®」が、地域団体商標に登録されています。競馬場のイベントなどに参加するなど精力的に活動中のジオファーム八幡平の皆さん。最近では「応援しているよ!」と声をかけられることも多くなってきたそうです。「地域ブランド」として、地元の人々からの応援を受けながら、全国に「八幡平マッシュルーム®」の魅力と美味しさを発信中です!

「ジオファーム八幡平」の詳しい活動インタビューはこちら→



## 馬のふるさと千厩町で目指す、新たな観光地の創造



義経伝説に想いを馳せながら…。名馬・大夫黒ゆかりの地。

平安時代に東北で一大勢力を築き上げた奥州藤原氏とも所縁のある岩手県一関市千厩町。そこには源義経の愛馬「大夫黒」の伝承が今も伝わります。義経が1180年に頼朝挙兵の知らせを受けて鎌倉へ向った際、藤原秀衡から餞別として贈られた馬の中にいたのが「薄墨 (のちの大夫黒)」です。厳しい進軍の中、薄墨は倒れることなく連戦連勝。かの有名な一ノ谷の戦いにおける「鶴越の逆落とし」でも、この薄墨が活躍したそうです。

調べれば調べるほど面白い、義経と大夫黒の伝説。そんな歴史に残る名馬・大夫黒が千厩から出たという

ことを子どもたちの世代に誇りに思いつつ、後世に繋いでいってほしいという思いで活動しているのが、「千厩・大夫黒・馬っ子の会」の会長を務める昆野洋子さんです。2年前に設立された同会の目的は、大夫黒を讃えるモニュメントを作ること。昆野さんたちは「このモニュメントの作成をきっかけに全国の皆さんに大夫黒を知ってもらって、観光の目玉にでもなってくれば」という想いと共に、寄付を呼びかけています。「今ある観光地より、作り出す観光地」と語る昆野さんたちの活動に、ぜひご注目ください。

「千厩・大夫黒・馬っ子の会」の詳しい活動インタビューはこちら→





# 引退馬を救い、人を救う。

一般社団法人

『馬と歴史と未来の会』の取り組みとは？



樹上完熟を目指し、  
ギリギリまで木の上に置いて  
収穫したりんごの  
香りと甘さ・酸味は絶品！

## リンゴジュースで引退馬を支える

近年、競走馬が現役を引退したあとの行方にもスポットが当たるようになりました。一般社団法人『馬と歴史と未来の会』では、そうした引退馬たちの支援を目的に、馬ふん堆肥栽培・田舎堆肥（馬を含む混合家畜堆肥）を使用してりんごを栽培。そのりんごをふんだんに使ったストレートりんごジュースを販売して、引退馬支援をしています。

馬ふん堆肥は、土壌をふかふかに柔らかくする効果があり、植物本来の力を充分に発揮させることで、健康な植物にします。低農薬化が進み、昔ながらの堆肥利用に注目が集まっている現代社会にピッタリではないでしょうか？

馬ふん堆肥は、引退馬を飼養している牧場のものを使うことで、馬の仕事を増やすこと、引退馬を飼育する牧場を支援していくこと目指しています。

りんごジュースの売り上げは、引退馬のリトレーニング費用などの支援費に充てられています。

Pick Up!

1

リンゴジュースの  
購入はこちら↓



Pick Up!

2

馬の健康を守る

馬の世話をする中で、頭を悩ませることのひとつがケイクン（下肢部皮膚炎）。馬の脚元に泥が付着したことなどを起因として、皮膚炎を発症してしまうことがあるのですが、慢性化・重症化すると、皸（あかぎれ）となってしまいます。結果的に疼痛・跛行を引き起こしてしまう原因となることも。

そんな馬の健康を損なうケイクンを予防するためのケア用品を開発・販売をするのも、一般社団法人『馬と歴史と未来の会』の大切な取り組みのひとつです。

一般社団法人『馬と歴史と未来の会』の  
取り組みはこちら→



## 人を癒すホースセラピー

Pick Up!

3



【診療時間】  
9:00～12:00/14:00～18:00  
（水曜午後・土曜日・月曜日定休）

☎ 019-613-6677

ひとりで悩まなくていいんです



もりここ

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮六丁目1番48号  
<http://www.moricoco-m.com/>

一般社団法人『馬と歴史と未来の会』では、『岩手県馬っこパーク』にて、月に2回のホースセラピーを開催しています。ホースセラピーは、馬と触れ合うことによる心のケアやストレス緩和、さらには肉身体面での効果も期待されている注目のセラピー。『もりおか心のクリニック』監修のもと開催されるホースセラピーを、一度体験してみませんか？（ご利用には医師の診察が必要になります）



Interview

## サルサディオオーネ生産 荒谷牧場

青森県で生まれ、盛岡での偉業達成を狙う馬がいる。

その馬の名前は、サルサディオオーネ。

8歳とベテランになりながらも、

強豪を相手に一步も引かないレースを繰り広げる。

今回は、そんな彼女の幼き頃を知る荒谷さんに、  
お話を伺ってきた。

### 現役時代の母の背中を知る縁。

### 名種牡馬との配合で高まる期待。

「今年は10頭生産しているんですが、中央でデビューというのは例年1.2頭くらい。だから中央で何度も勝ってくれたり交流重賞を制してくれたりしているサルサディオオーネには、貴重な経験をさせてもらっています」

青森の牧場に生まれ、親子3代にわたって牧場に携わってきた荒谷さん。旧・南部牧場で場長をしていた祖父と父だったが、平成4年に当時のオーナーが亡くなったことをきっかけに牧場を譲り受けた。その頃は高校生だった荒谷さんも、今となっては場長兼オーナーとして牧場を切り盛りしている。

「サルサディオオーネは生まれた時からすごい馬でした。誰が見ても垢抜けているというか…。どんな馬か、血統を知らない人からも『あの馬は一体!?』と聞かれるほどでした」

そもそもサルサディオオーネは、牧場にとって期待の良血馬だった。父はダートの名種牡馬ゴールドアリュールで、母は南関の活躍馬サルサクイーン。サルサクイーンといえば、02年の東京プリンセス賞の勝利をはじめ、浦和の桜花賞で2着、関東オークスで5着などの実績を残し、JDDではゴールドアリュールとも戦っている。

そんなサルサクイーンと荒谷さんの間には、現役時代からの縁があった。

「サルサクイーンは休養中にウチの牧場に来ていた時期があったんですよ。だから、彼女の現役時代の背中を知っているんです。あのクラスの馬に携わるということも、そもそも滅多にないことなのでプレッシャーはありましたが、オーナーさんのお陰で『一生の宝物』の思い出が出来たな、という気持ちでした」

引退後、縁あって荒谷牧場で繁殖をしていたサルサクイーン。荒谷さんがサンデー系の種牡馬をつけたいと思っていたところ、ゴールドアリュールの種付け料がさがったので「これならウチでも手が届く」と思い、オーナーと相談した末に種付けを決めた。血統だけ見ればダートへの期待が高まるが、荒谷さんはそういうわけでもなかったという。

「ゴールドアリュール自身、ダービーでは5着に食い込んでいるほどの馬ですから、ダート以外もやれる種牡馬だとは思っていました。生まれてきたサルサディオオーネを見ても芝でやれそうな雰囲気がありましたから、芝デビューも期待していました。結果的にはキックバックを嫌ったこともあって競馬にならず大敗してしまいましたが、ダートでこれだけ結果を出した今でも『実は芝でもやれるんじゃないか?』と思ったりしています」





## 「ウチのような小さい牧場に、 ここまで夢を見せてくれるとは…」

サルサディオオーネの初勝利は、デビュー 2 戦目のダート 1800m 戦。テレビの前で家族で「頑張れ! 頑張れ!」と応援したという一戦は、スタートからハナを主張したサルサディオオーネの快勝だった。その 3 走後には条件戦も制したサルサディオオーネは、3 歳ダート重賞レパード S に挑戦する。その年のレパード S は、まさに一強体制。デビューから 4 戦全勝で海を渡り、UAE ダービーでも堂々の 2 着と好走したエピカリスが、単勝 1.5 倍の圧倒的サポートを集めていた。しかしレースでは 12 番人気のサルサディオオーネが逃げ粘り、3 着エピカリスを 4 分の 3 馬身差しのぐ 2 着に好走した。

「あのレパード S は、声がカラカラになるほど応援しましたね。大声は出すわ、手は叩くわで、ゴール前は大騒ぎでした。あとで隣の牧場の人がきたときに『声がすごかったね』と言われたほどです(苦笑) 元々は『5 着以内に入ってくれたら…』と思っていたんですが、まさかあのエピカリスに先着するとは…。重賞に出ただけで凄かったのに、感激しました」

その後も、サルサディオオーネは実績を積み上げていく。4 歳シーズンではオープン競走 BSN 賞で勝利、重賞エンプレス杯で 3 着、クイーン賞で 2 着などの戦績を残し、5 歳シーズンでもスパーキングレディー C で 2 着に好走。しかし重賞制覇にはなかなか手が届かなかった。そんな中、サルサディオオーネの 6 歳シーズンは大井の堀千亜樹厩舎への移籍からスタートした。

「移籍 2 戦目の報知グランプリカップも、かなり叫ぶことになりました(笑) それまで 2 着や 3 着など惜しい競馬が続いていたんですが、ようやく勝てましたから…。若い頃にはゲートになかなか入らず、レース前後に入れ込んだりと、苦労しているシーンを見かけることが多かったです。ただ、調教師や厩務員の方々、短期放牧先の方々によくしてもらったからか、どんどん精神的にも大人になってくれました。生産者として、本当に感謝しています」

さらに 2 ヶ月後、サルサディオオーネは交流重賞マリー

前哨戦として挑んだ  
日本テレビ盃では牡馬を相手に 3 着。  
大舞台での偉業達成を目指す。  
スタートから先頭でレースを引っ張る  
スタイルは 8 歳になっても健在。



ン C を制覇、年末にも交流重賞クイーン賞を制覇。充実のシーズンとなった。翌 7 歳シーズンには交流重賞 2 レースを含む 3 連勝。南関を代表するダートの有力牝馬の座にのぼり詰めた。8 歳シーズンとなった今年は、悲願の G1 級タイトル奪取を果たすべく、JBC レディクラシックに向かう。JBC の舞台となる岩手に遠征し、ビューチフルドリーマーカップで 2 着に 5 馬身差をつけて快勝。荒谷さんも、その圧勝劇を現地で観戦した。

「牧場での仕事もありますし、さらにはコロナ禍とあって、近頃はなかなか現地での応援が叶わなかったのですが、岩手に来てくれたことで久々に会うことができました。馬房を掃除してから車で 2 時間かけて、家族 5 人で駆けつけました。単勝 1.0 倍という評価をいただきましたが、そうそうあるオッズではありません。感激しました。皆さんに応援していただいているんだな、と…」

今年の JBC レディクラシックにも、強豪牝馬が多数参戦。その中で、盛岡競馬場でのレースを経験したサルサディオオーネは、どういった競馬を見せてくれるのだろうか。楽しみは尽きない。

「この馬齢にもなると、無事にレースを終わってほしいという想いがさらに強くなってきます。ウチのような小さい牧場に、ここまで夢を見せてくれるとは…。離乳後、母のサルサクイーンとともにサルサディオオーネは村上欽哉さんの牧場に移動していますし、No.9 ホーストレーニングメソッドさんが育成を担当してくださっています。皆様のお陰で、重賞馬の生産者にしてもらいました。一昨年に亡くなった父も、重賞の制覇は見えていました。なかなかないことで喜んでいました」

荒谷さんは最後に「JBC レディクラシックも、もちろん『勝ってほしいな』という気持ちはありますが、それ以上に『無事で』という気持ちが強いですね。競馬に携わる人間は、多くがそうなのではないでしょうか」と付け加えた。青森から登場したダートの名牝は、盛岡 JBC でどのような走りを見せるのか。まずは無事の完走を願い、応援したい。

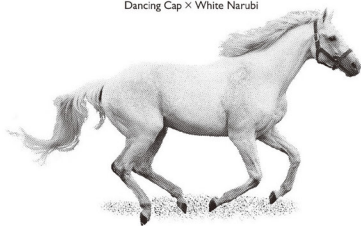






## OGURI CAP

Dancing Cap × White Narubi



ARIMA KINEN (GRAND PRIX) 1988 | MILE CHAMPIONSHIP 1989  
YASUDA KINEN 1990 | ARIMA KINEN (GRAND PRIX) 1990

優駿SS  
オリジナル

### オグリキャップ レザーマウスパッド

8/30発売予定

販売価格: 1650円(税込)



King Halo  
オウグリキャップ



Oguri Cap  
オウグリキャップ



Merano Top Gun  
オウグリキャップ

優駿SS  
オリジナル

### 夢みる名馬コレクション 優駿SS

販売価格: 700円(税込)

名馬しおり  
オグリキャップ



優駿SS  
オリジナル

### 名馬しおりコレクション オグリキャップ

販売価格: 950円(税込)

お電話でのご注文は 080-6082-7734 名馬グッズ事務局 担当: 矢尾板(ヤオイタ)

## 編集後記 Editor's Note

『ウマフリ岩手 with 馬と歴史と未来の会』の第1号をお手に取って下さった皆様、ありがとうございます。前回、創刊号(第0号)として配布させていただきました南部杯特集也非常にご好評いただき、製作陣一同、とてもありがたい気持ちでいっぱいです。(もし手に入らなかった方は、WEB版をウマフリのサイト内で掲載しているのでご覧ください!) 岩手競馬の一大イベントであるJBC盛岡に、こうして遠巻きながらも関わることができて、やりがいと充実感を感じる企画になりました。馬との縁が深い岩手という土地で、今後も競馬を盛り上げていければと思っています。取材を受けたい、こういった企画を掲載してほしい、フリーペーパーをウチでも配布したいなど、皆様からのご提案や感想もお待ちしております。『ウマフリ岩手』を長く続けていきたいと意気込んでいますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

次号は年明けの発刊となる予定です。どうぞお楽しみに!

(ウマフリ代表 緒方きしん)

## Credit

冊子名: ウマフリ岩手 with 馬と歴史と未来の会

発行元: 一般社団法人 馬と歴史と未来の会

企画: 上田優子(馬と歴史と未来の会 代表)

編集長: 緒方きしん(ウマフリ 代表)

写真: 横川典視 青狸 みちのくあめおとこ 水軍

かぼす ウカ あかひろ

デザイン: 椎葉権成(株式会社 Creem Pan)

制作: 秀間翔哉 小早川涼風 平林健一(株式会社 Creem Pan)

発行日: 2022年10月25日

お問合せ、  
ご感想は  
こちらから→

